

○ 研修会報告 令和4年5月開催

兵庫区医師会会議室+オンライン

第5回多職種のための事例検討会

日時：令和4年5月19日（木）18時～19時30分

参加：65名

テーマ：「在宅におけるICTを活用した多職種連携について」

内容：事例紹介とパネルディスカッション

事例提供・座長・パネリスト：古城 善正 氏（ひょうごホームナースング研究所 主任CM）

パネリスト：三浦 康寛 先生（なかに歯科クリニック 歯科医師）

小田 和成 氏（井上病院 MSW）

吉尾 健氏（マリン薬局 薬剤師）

姜 京子 氏（ひょうご訪問看護研究センター 看護師）

森脇 一雅 氏（訪問看護ステーショングリーンアップル 言語聴覚士）



ICTのツールの一つであるバイタルリンクを活用されている事例をご紹介いただき、パネルディスカッションでは活用のメリット・デメリット等について各パネリストよりご発言いただきました。

～～～ パネルディスカッションより ～～～

ICT活用のメリット

・各関係者へ個別に情報発信する手間が省ける。・ケアマネを介さず関係者間で情報交換ができる。リアルタイムな情報を持って訪問できるため患者からの信頼度が増す。・伝えたい相手が休みや業務中であっても後でやり取りを見てもらうことができる。・利用者との会話やその時に漏らした気持ち等をその時に関係者へ伝えることができる。・ペーパーレス化、輸送コストの削減になる。画像の共有が可能。

ICT活用のデメリット

・端末機器を持っていない状況や環境の問題がある場合にはすぐに入力ができない。・FAXに比べるとタイムラグがある。・事業所内で使える人数が限られている。・すべての事業所が対応しているわけではない。

～～～ アンケートより ～～～

- ・過去のやり取りや経過を共有できるというメリットは今回の事例を通してよくわかった。（MSW）
- ・ICTのメリットを感じるとともに、全員が登録できていないデメリットを感じた。神戸市で統一できればと思います（看護師）
- ・報告連絡相談が一度に複数の施設にできるというメリットがあり、また写真等で共有できることはとても便利なツールであると思いました。（薬剤師）

○ 研修会報告 令和4年6月開催

兵庫区医師会会議室+オンライン

令和4年度 第1回兵庫区医療介護関係者研修会

日時：令和4年6月23日（木）14時～15時30分

参加：65名

テーマ：「家族の捉え方を学び、家族支援を考える」

内容：講演・質疑応答

講師：皆本 美喜 氏（兵庫県看護協会 家族支援専門看護師）



ご講演より

家族看護における家族について、「家族を複雑で多次元的な存在」「情緒的な融合と固有の歴史を有す」「セルフケア機能を持っている」「一単位としての家族をケアの対象とする」「家族員の変化は必ず家族全体の変化となって現れる」といった捉え方が重要であること、また援助関係の形成では自分自身の家族間や先入観を自覚し、自分の考えや価値観を押し付けないこと、家族は多種多様であることを認め、その家族のありのままを受け止めることが必要であるということ学びました。

家族への看護援助の実際については事例をご紹介いただき、家族の合意形成に向けて行った支援について場面ごとに具体的にお話しいただきました。

①各個人の思いを聴く⇒②スタッフ間での話し合い（倫理的側面を含む）⇒③話し合いの機会・場所の設定⇒④話し合いの場では（本人の思いを代弁、各個人の思いの整理）⇒⑤決定した内容を尊重

～～～アンケートより～～～

- ・相手に寄り添いながら、ご利用者様と家族の生活背景に耳を傾け、お互いに対する想いを一緒に考えていくことで、より良い支援に繋がっていきたいと思います（訪問系介護職）
- ・家族と支援者の思う安心は、本当に同じ？何とかしてあげたい、この気持ちが大事。答えは家族が出すこと、そのためのフォローをすること（あんしんすこやかセンター職員）
- ・私自身考えていたことが学問的にも考えられているんだと理解できました（看護師）
- ・患者様の家族像の背景、見えない部分も読み取り対応できる力をつけたいと感じました（薬剤師）
- ・家族の発達段階はとても新鮮でした。事例がとてもわかりやすかったです。（ケアマネジャー）

研修会のご案内 7/21「多職種で支援する摂食嚥下障害」

兵庫区在宅医療スキルアップセミナーではこれまでたくさんの兵庫区の専門職の先生からご講演いただいております。

この度、第11回目となります本セミナーでは **摂食嚥下障害を多職種で支える** をテーマに訪問歯科を専門にされておられる **三浦康寛先生**

(なかにたに歯科クリニック) よりご講演いただきます。在宅の専門職どのように連携をとっておられるのか、ケースの紹介や、訪問歯科医として摂食嚥下障害へどうアプローチされているのか、相談のタイミングについて等々お話しいただきます。ぜひご参加ください。



日時：令和4年7月21日（木）18時～19時30分
場所：兵庫区医師会会議室（神鉄ビル11階）またはオンライン（ZOOM）
テーマ「多職種で支援する摂食嚥下障害 ～訪問歯科医師から学ぼう編～」
講師：三浦 康寛 先生（なかにたに歯科クリニック）

会場参加申し込みQRコード

Zoom参加申し込みQRコード



会場参加+オンライン参加

第11回 兵庫区在宅医療スキルアップセミナー
 「多職種で支援する摂食嚥下障害～訪問歯科医師から学ぼう編～」
 日時は兵庫区医師会介護リポートセンター事業にご厚意、ご協力いただきありがとうございます。
 今回のセミナーでは、高齢者の摂食嚥下障害の実態について学びます。
 「摂食嚥下障害の原因や症状、検査、診断について」「訪問歯科医師と多職種がどのように連携し、利用者さんを支えているのか?」「どんな場合に訪問歯科医師に相談すればいいのか?」等々、明日からの連携に活かせる内容が満載です。皆様から事前にいただきましたご質問にもお答えいたします。ぜひご参加ください。

日時：令和4年7月21日(木) 18時～19時30分

講師：「多職種で支援する摂食嚥下障害～訪問歯科診療からのアプローチ（仮）」
 講師：三浦 康寛 先生（なかにたに歯科クリニック）
 内容：講義・質疑応答

対象者：兵庫区の医療・介護関係者
 開催方式：会場(兵庫区医師会会議室)参加 20名
 オンライン参加 50名

申込締切 7/18

会場(兵庫区医師会会議室)参加申し込み

① 会場参加専用 QR コードから申し込み

② FAX 申し込み 送信先 575-5712

所属	
お名前	
職種	
連絡先	

Zoom参加申し込み

① Zoom 参加専用QRコードから申し込み

② 神戸市医師会介護リポートセンターホームページから申し込み
 URL: <https://kobe-iks.net/area/kyoumu>

※セミナー前日までに Zoom の参加 URL、ID、パスコードをメールでお送りします。
届かない場合はお手数ですが下記までご連絡ください。

お問合せ先-兵庫区医師会介護リポートセンター 電話 078-575-5711 担当:青山 藤本

「食」を支える会のご紹介

活動内容

三浦先生らが発足人となり、地域で多職種間の「顔のみえる関係」を築き上げ、摂食障害に対して知識の向上、観察ポイントの確認、日々の診療における疑問点などを一緒に学ぶ勉強会を月1回開催されています。

「食」を支える会の目的（「食」を支える会ホームページより）

地域において摂食嚥下障害を抱える方々「食」に関わる問題に対して、多職種からアプローチし、対応できるように他職種との連携、交流の場になりたいと思っております。

皆で問題点の共有・解決に臨み、患者さまが安全に経口摂取を続けて頂くことを目的としています。

LINE 「食」を支える会公式LINEアカウント

お友達の追加方法は、公式アカウントより『@049fxzce』で検索、または右のQRコードから



FB 「食」を支える会

FB: <https://www.facebook.com/nakatanihoumonshika/>

第61回「食」を支える会 勉強会開催のご案内

拝啓

この度、第61回「食」を支える会の開催内容・日程が下記の通り決定いたしました。今回は歯科医師より「オーラルフレイルを見逃すな!」というテーマでお話をさせていただきます。

ある研究結果では要介護認定になりやすい高齢者の特徴として「治療中の疾病がある」、「服薬数が多い」などの中に「咀嚼力が弱い」という項目があります。「オーラルフレイル」は「お口の虚弱」のことです。「食べ物をこぼす」、「固い物が噛めない」、「滑舌が悪くなった」など口腔の機能低下が始まると、生活の悪循環に陥り、結果として要介護状態になりやすくなると言われております。

このささいなお口のトラブルを見逃すことなく、口腔機能の治療をすれば予防に繋がります。今回は「オーラルフレイル」はどのようなことから始まるのか、また「口腔機能低下症」はどのような診断基準で診断されるのか勉強していきましょう。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

敬具

日時 R4年7月23日(土) 18時から (約1時間程度)
 場所 ZOOMを用いたweb開催
 題名 「要介護状態の入り口?オーラルフレイルを見逃すな!」

発表者 なかにたに歯科クリニック
 歯科医師 三浦 康寛

*ご参加を希望の方は、下記まで必ず所属とお名前を記載しメールを頂きますよう、よろしくお願致します。人数確認のため、7月19日までご連絡頂ければ幸いです。
 ご連絡を頂いた方には7月22日までIDとパスワードをメールさせていただきます。

連絡先 三浦 康寛 yasuhiro@yahoocoo.jp



HP: <http://nakatanihoumonshika.com/>

兵庫区 魁! 在宅看取り塾



祝開講!!
を開講します



看取りについてトコトン考える塾が開講します。
兵庫区で在宅看取りを支えておられる専門職の先生方が講師です。
看取りに関しての疑問や不安を解消したい、看取りケアって？これで良かったの？
多職種連携はどうすればいいの？兵庫区ではどこで看取りをされているの？等々
実践に役立つ授業が受けられます。ぜひ一緒に学びませんか？

第1回目の授業ではホームホスピス神戸なごみの家での看取りから「看取り」について考えます。
ご本人やご家族が納得される看取り、最後まで地域の人とのつながりがある看取り、そんな暮らしの中にある看取りのお話をホームホスピスの先駆者である松本京子先生よりご講義いただきます。
ご自身がどんなふうに見取られたいか、考える機会にされるのもいかがでしょうか？
ぜひご参加ください。

日時：令和4年8月18日（木）18時～19時30分

場所：兵庫区医師会会議室（神鉄ビル11階）

またはオンライン（ZOOM）

テーマ「神戸なごみの家から学ぶ！

～暮らしの中の看取り～

講師：松本 京子 先生（緩和ケア認定看護師）

神戸なごみの家 理事長

訪問看護ステーションあさんて・はな 管理者

会場参加申し込み

QRコード



Zoom参加申し込み

QRコード



ホームホスピスとは何か



ホームホスピス®とは

ホームホスピス®は、病いや障害が有る事で生きる困難に直面している人とその家族がケアの対象です。一軒の家（民家）に家族規模の住人がともに暮らし、その住人を介護スタッフや地域の医療連携チームが支えるのがホームホスピス®です。そして、痛みやそのほかの身体的なケアだけでなく、生活者として人生の幕を閉じるまで、住まいを中心に医療、介護、生活支援が一体となったケアの体制を構築します。

ホームホスピス®は、全国ホームホスピス協会の登録商標（区分：第44類）です。
引用 一般社団法人全国ホームホスピス協会HP

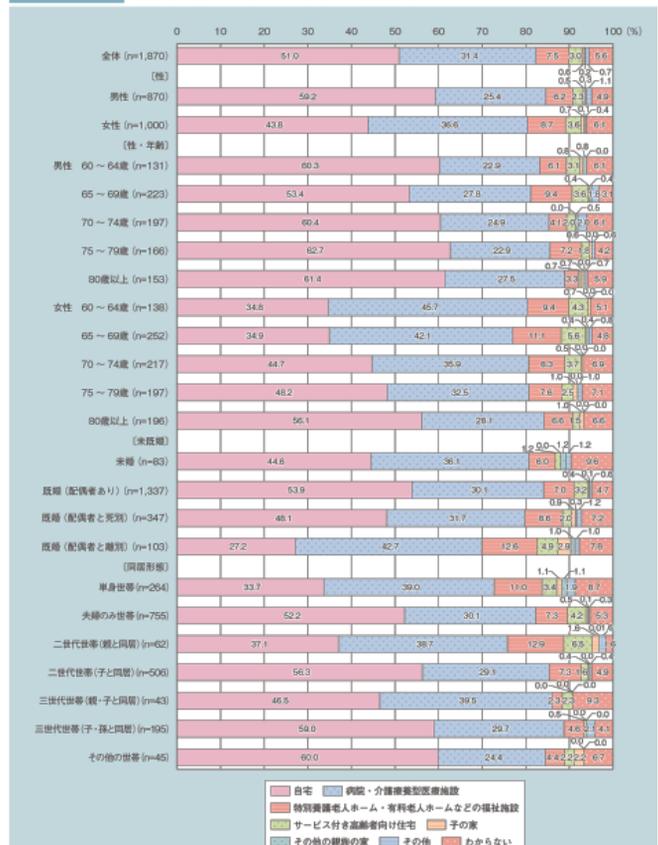
—Topic—

60歳以上の人の約半数が、自宅で最期を迎えたいと考えている

60歳以上の人に、万一治る見込みがない病気になった場合、最期を迎えたい場所はどこかを聞いたところ、約半数（51.0%）の人が「自宅」と答えている。次いで、「病院・介護療養型医療施設」が31.4%となっている。性別に見ると、「自宅」とする回答は、男性の59.2%に対し、女性は43.8%とやや低くなっている。さらに年齢別に見ると、男性は年齢による差はあまりないが、女性は年齢が高くなるほど「自宅」とする割合が増える傾向にある。また、未婚や同居形態による差も見られ、「既婚（配偶者と離別）」や「単身世帯」、「二世世代世帯（親と同居）」では、他に比べて「自宅」と答える割合が低くなっている。

引用 令和元年版高齢社会白書一内閣府

図1-3-13 完治が見込めない病気の場合に迎えたい最期の場所（択一回答）
（性別・性・年齢別、未婚・既婚別、同居形態別）

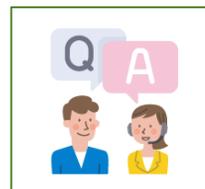


兵庫区医療介護サポートセンターには在宅医療に関する相談窓口があります

医療・介護等のサービス提供者の皆さまからの在宅医療サービスに関する相談に対して、必要な情報提供を行います。また支援・調整等を相談者の方と一緒に考えます。

例えば

- 訪問診療や往診を行う医師等の紹介
- 訪問看護などの在宅医療サービスに関する相談
- 在宅医療の後方支援（病状急変時の一時入院先の確保等）に関する相談
- 在宅移行のための退院調整に関する相談
- 在宅医療に関する一般的な相談 等



よくあるご相談「〇〇科で訪問していただける先生を教えてください」
 ⇒サポートセンターの相談役の先生に相談し、近隣で訪問されている先生をご紹介します。
 ※かかりつけ医がおられる場合は、まずかかりつけ医へご相談ください。

研修会開催予定

開催予定日時	場所	テーマ
R4. 7月21日(土) 18:00~19:30	・兵庫区医師会会議室 ・オンライン	第11回兵庫区在宅医療スキルアップセミナー 「多職種で支援する摂食嚥下障害 ～訪問歯科医師から学ぼう編～」 講師：三浦 康寛 先生（なかたに歯科クリニック）
R4. 8月18日(土) 18:00~19:30	・兵庫区医師会会議室 ・オンライン	第1回 兵庫区在宅看取り塾 「神戸なごみの家から学ぶ！暮らしの中の看取り」 講師 松本 京子 氏（緩和ケア認定看護師） 神戸なごみの家 理事長 訪問看護ステーションあさんて・はな 管理者

Hyogoku三択クイズ 三択王におれはなる!!



1. 湊山小学校跡地にオープンしたNATURE STUDIO（ネイチャースタジオ）にない施設は？

A.水族園



B.ハーブ専門店



C.無人餃子店



2. 右の平清盛像のうち、兵庫区以外にあるのは？

A.



B.



C.



答え 1. C.無人餃子店

A.みなとやま水族館 B.HERB SHOP 他にもビール醸造所や保育園等があります。

2. C. 宮島（広島県）にある平清盛像

A.兵庫区切戸町にあります。

B.兵庫区平野商店街にあります。

兵庫区医療介護サポートセンターは、医療、介護、福祉の関係者からの在宅医療に関する相談への対応や、各種の研修、市民の方への在宅医療・介護に関する普及啓発などの業務を行っております。医療・介護・福祉関係者の皆様、お気軽にご相談ください。

兵庫区医療介護サポートセンター コーディネーター：青山・藤本

受付時間：月～金曜日（祝日・年末年始を除く）電話：078-575-5711 FAX:078-575-5712

兵庫区医療介護サポートセンター：<https://kobe-iks.net/areq>



★次号は令和4年8月発行予定です ※「兵庫区つながる通信」第1号～今月号までホームページに掲載しています。上のQRコード・URLからご覧いただけます。